

プロネクサスベトナム現地レポート

(2021年3月 VOL.20)

プロネクサスベトナムが、2021年2月のベトナム現地情報をお伝えいたします。

今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資(Foreign Direct Investment 以下、FDI)の動向についてです。

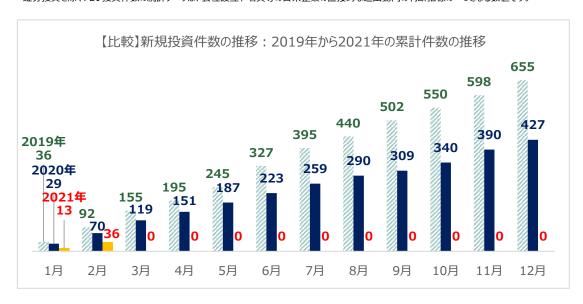
2021 年ワクチンが普及してきたものの全世界で新型コロナウイルスの影響は未だに大きく、前年同時期と比べると減少傾向が続いております。

【FDI 動向の概要(2021 年 1 月 1 日~2 月 20 日)】 *2 月の数値は、20 日時点の値【1】 日本の対越投資動向

- 日本の 2021 年 1 月 1 日から 2 月 20 日までの FDI 投資額は約 16 億 3,507 万 US ドル (*2020 年同期間:約 3 億 4,052 万 US ドル、480.1%)
- 日本の 2021 年 1 月 1 日から 2 月 20 日までの FDI 投資件数は、67 件(*2020 年同期間: 211 件、31.8%)
- 証券投資件数を除いた日本の 2021 年 1 月 1 日から 2 月 20 日までの FDI 投資件数は、36件(*2020年同期間:70件、51.4%)

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI 投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。



*データ引用元:ベトナム外国投資庁



【2】 世界の対越投資動向

2021 年 2 月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、46 の国と地域から投資が行われて おり、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国(金額: USドル) ■当件数の上位5か国(件数)

1位	日本	約 16 億
2位	シンガポール	約 10.7 億
3位	韓国	約 10.5 億
4位	中国	約7億
5位	香港	約2億

1位	韓国	183
2位	中国	116
3位	日本	67
4位	シンガポール	55
5 位	台湾	51

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 火力発電所建設プロジェクトで約13億USドル(日本)2021/1
- ▶ LG 電子ハイフォン工場に約 7 億 US ドル追加投資(韓国) 2021/2
- ▶ ラジアルタイヤ製造プロジェクトで約3億USドル追加投資(中国)2021/1
- ▶ コンピューター製造の工場建設プロジェクトで約 2 億 US ドル(シンガポール)2021/1
- ▶ JA ソーラーが太陽電池製造プロジェクトで約2億USドル(中国)2021/1
- ▶ 上記の大型プロジェクトなどが FDI 投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへ の投資金額は、対前年同時期と比較し84.4%程度で推移

*引用元:ベトナム外国投資庁

<2月の投資状況>

2021 年 2 月においても、FDI 投資は依然として対前年同水準に達していない状況にあります(対 前年比 約84.4%程度)。

外国からの新規プロジェクトへの投資は 126 件 (対前年比 25.2%程度)、金額は 33.1 億 US ドル(対前年比 60.1%)。 同様に外国からのベトナムの既存プロジェクトに係る増資に関しては、115 件行われ(対前年比 76.1%程度)、金額は 16 億 1,000 万 US ドル(対前年比 252.3%) に 達しました。しかしながら、2021年2月のベトナムにおいて投資資本においては2%増加し、厳しい状 況下でも注目を浴び、経済成長が続いていることが分かります。

^{*}データ引用元:ベトナム外国投資庁

^{*「}新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を 算出(2021年1月1日~2月20日)



<ベトナムにおける
 日系企業の実態>

日本貿易振興機構における「2020 年度海外進出日系企業実態調査」が発表され、コロナ禍での 日系企業の状況が発表されました。この調査によると、2020 年度は 52.8%の企業が利益減少傾向 にありましたが、ベトナムに進出している日本企業の 49.6%は高い収益を保っているとのことです。

また、ベトナムに投資している日本企業の 46.8%は、今後 1~2 年で投資を拡大するとしています。 この投資拡大率は、コロナウイルスの影響で前年を下回っていますが、アジア・オセアニア地域では 4 番目 に高い水準となります。商社・卸売業に関しての事業拡大率も、ベトナム(57.1%)が最も高く、その他の 国では 50%を下回るとされています。 製造業の今後の事業展開については、生産地を中国からタイやベトナムに変更することを考えている企業が約 20%もいることが分かりました。

以上のことから、現在も新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きいですが、ビジネス正常化時期の 見通しは、世界的に見ても 2021 年前半(35.7%)または 2021 年後半(32.6%)の回答が多 く、ベトナムにおける経済発展も回復傾向にあるといえます。

*引用元:日本貿易振興機構.「2020年度海外進出日系企業実態調査」.

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_News/releases/2020/f2a455aa82cb1403/2020ao-ou.pdf, (参照 2021/05/17)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資(Foreign Direct Investment 以下、FDI)3月の動向について】をお伝え致します。



[Disclaimer]

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。